

1-4 商業の振興

■現況と課題

1. 商業環境の整備

大通商店街近代化事業の完了により、ショッピングセンターや店舗が整備され、中心商業地における商業環境は整いました。しかし、町内の郊外型大型店との店舗間競争に加えて、モータリゼーションを背景とした消費者の行動範囲の拡大により、近隣町の郊外型大型量販店との地域間競争が激しくなっています。

このため、町外への購買力の流失を最小限に抑え、大通地区商業地を中心に集客力を高めることが課題となっており、消費者の利便性の向上を図るために買い物環境の向上に努め、魅力ある商店街の形成を図る必要があります。【1】

また、商業者も消費の伸び悩みや後継者問題など、事業継続が難しい状況も発生してきており、これらに対する対策も必要となっています。【23】

2. 商業経営の近代化の促進

個人のライフスタイルや価値観の変化などに伴い、消費者ニーズの多様化に対応した創意ある商業経営が求められています。このような中、消費者のニーズに合った経営改善や情報化社会に対応した転換により、経営の近代化を図る必要があります。また、販売力の強化のためには情報発信や販売方法の工夫も必要です。【12】

■今後の方向性

1. 商業環境の整備

1 関係団体などと連携し、消費者ニーズへの対応と買い物環境の向上による、地域に根ざした魅力ある商店街づくりを支援します。【①②】

2 コストなどでは都市部商圈との競争力維持は困難であることから、差別化を図るため、地場製品の販売や飲食メニューの開発など活用を含めた検討を進めます。【③】

3 経営の中核を担う後継者などの育成を図るため、商工会議所が実施する後継者育成事業に対して、積極的に支援します。【④】

4 商業経営の安定や改善を進めるため、各種融資制度の利用を促進するとともに、商工会議所・中小企業相談所が行う指導事業などを支援します。【⑤～⑧】

2. 商業経営の近代化の促進

1 商業経営の近代化や情報化社会に対応した経営への転換を促すため、商工会議所・中小企業相談などの関係機関と連携して、情報提供並びに経営診断などを進めます。【⑤】

2 経営の基盤となる販売力強化のため、必要となる効果的な情報発信や販売方法について、インターネットの活用を含めた検討を進めます。【⑨】

■実施事業

- ① 商業団体間の連携強化（新規：商業活性化事業）
- ② 消費者ニーズへ対応した魅力的な商店街の形成（新規：商業活性化事業）
- ③ 地域資源活用促進事業（新規）（再掲）
- ④ 商業後継者育成支援の検討
- ⑤ 関係機関と連携した経営診断・指導事業
- ⑥ 中小企業融資制度
- ⑦ 中小企業不況対策融資制度
- ⑧ 商工組合中央金庫預託
- ⑨ インターネット活用の推進（新規：商業活性化事業）